

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 6月 1日

事業所名 児童デイサービス エデュカール

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	1		物品を整理し運動スペースを広げる。
	2	職員の配置数は適切である		1	5		看護師の配置。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		1		障害になりそうな物は撤去する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	2		定期的な業務改善ミーティング、会議の実施。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2	1		評価表の集計を共有する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	0		配布時期を決めるなど、遅れがないように計画的に行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	3		必要に応じ検討する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	1		月に1回を目標に実施する予定。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	送迎時を活用している。	適宜聞き取りの時間を設ける。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	活用していないが、情報提供を受けている。	引き続き情報提供を依頼する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0		保育士・訓練担当を中心にチームを作る
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0		新たなプログラムの作成。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	0	長期休暇を利用して普段できない事を企画している。	地域交流をメインに企画する
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		ご家族、関係各所と情報を共有し組み合わせは検討する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0		朝のミーティングで確認する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0		終礼を検討する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	0		ケースに残すことを徹底する。
関係機関や保護	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		年間を通してスケジューリングを行い定期的実施できるようにする。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2	0	ガイドラインに沿った計画書を立案している。	職員全体でガイドラインを周知する。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0		児発管、管理者を中心としているが臨機応変に対応する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	0	引き継ぎ時に行っている。	モニタリング会議や担当者会議で直接的な情報共有は可能か、またその手段を確認していく。
関係機関や保護	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	1	お母さんを通して。	モニタリング会議や担当者会議を通して行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	1	情報提供書を通して。	必要に応じ対応する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	1		必要に応じ対応する。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	2		モニタリング会議や担当者会議で助言をもらう。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	3		今後機会を設ける予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	3		情報収集を行い、参加していく予定。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1			積極的にコミュニケーションを図っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	2		必要に応じ検討する。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	0		計画書の更新のタイミングで行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	1		定期的に聞き取りを行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	4	外部からそのようなお知らせがある場合は案内を出している。	委員会をつくり、交流会を企画する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0		管理者、児童発達支援管理責任者が担当する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	0		月に1度の広報発行を継続する。
	35	個人情報に十分注意している	5	1	0		個人情報取り扱いについて職員全体で周知する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	子どもとのコミュニケーションは普段接する中で気づいた点を職員全体で共有している。	コミュニケーションの回り方について職員で意見を出し合いよりよい方法を検討していく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	5	情報収集を行っている。	今後検討する。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	4	2		月に1度マニュアルに目を通す機会をつくる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	4	2		マニュアルを作成し、1年を通し訓練を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	研修を受けている。	研修を継続して受ける。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	0		契約時の説明と同意書へのサインを継続する。計画書へは記載するようにする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	朝のミーティングで周知している。	指示がある利用者は利用日に職員全体で確認する
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	2		朝のミーティングで確認する。	